



立正佼成会ニューヨーク教会

320 East 39th Street, New York, NY 10016 TEL: (212) 867-5677

E-mail address: koseiny@aol.com, Website : <http://rk-ny.org>

ニュースレター2020年 12月号



皆様こんにちは！ いかがお過ごしでしょうか？

2020年最後の月、12月を迎えました。

希望溢れる新年をスタートした本年も3月に入るとコロナ感染が世界中に広まり多くの感染者、死亡者を出し、ようやく収まるかと思うと第2波、第3波と続きいまだ収束の気配もなく一年が終わろうとしています。

この間医療関係者の懸命な取り組みと自粛生活が続きそれに加え経済活動が停滞しております。また私たちの生活を支え続けて下さるエッセンシャルワーカーの皆様など多くのお支えに深く感謝申し上げます。

あわせて、このコロナ感染を通じて亡くなられた方々へ心より追悼申し上げますとともに、今なお病床に付され、あるいは後遺症に悩まされている方々の早期回復を祈らせていただきます。

私は先月11月に一時帰国で東京にいました。2週間の家庭自粛の後、本部で数日にわたり開催された教団幹部指導会と国際伝道部、RKINAの会合に参加し、2021年の方針、計画の説明を詳しく受けてまいりました。

例年ですと世界各地から教会長が本部に参集し次年次の教団方針が示され会長先生のご指導をいただいておりますが、今年は様子が一転しYOU TUBE ,ZOOMを使用した500人規模のインターネット会合となりました。

日本の教会はもとより世界のサンガがインターネットを通じて心をつなげて行くという未曾有の経験を試みたわけです。

会長先生はじめ教団幹部の皆様が誰もいない本部大聖堂ホールの聖壇からカメラに向かいご法話、説法をされるという様子は不思議な思いがいたします。

しかしながら、コロナ感染を通じて生活様式が大きく変化する中、教団もこれまでの活動のあり方を見つめなおし単なるコロナ対策に終わらず、今後の教団のありかたを時代に合わせて変えてゆく第一歩としてとらえ2021年の計画が策定されたと示されました。

2021年の教団布教方針は以下の通りです。

「ニュー方便時代」

——一人一人の救われに向かって——

『笑顔と涙によりそおう』

救われるサンガ作りを目指したいという願いです。

これは、私たちが本会創立の原点にたちもどり、一人一人が法華經の精神にそって救われるサンガ作りを目指したいという願いです。

易しく言えば一人一人が大切にされているという実感がもてるサンガでありたいということで、その温かいサンガが築かれてこそ多くの人々・世界平和への道筋につながるということです。

NY教会ではすでにそうした仲良く温かいサンガが築かれつつありますが、なお一層この歩みを進めたく思います。日本では昔から「イモ洗いの修行」と言いますがイモをただ樽の中に入れてかきまぜてもお互いがこすれて傷ついてしまいます。

しかしながら、そこに教え（法）という水が注ぎこまれることによって程よくかき混ぜられながら自然に皮がむけきれいになるという譬えです。

こうした「教えに沿って」という水の中でこそお互いが傷付け合うことなく、程よく皮がむけきれいになります。一般世間ではその水がないため人と人のこすれ合いの中で傷ついてしまうことが良く見受けられます。

教えに沿ってお互いが切磋琢磨するなかで人間性が磨かれるというまさしく「立正佼成会」（注）の字句の意味に沿ったものです。

2021年もコロナ感染症は当面収まりそうにもありません。お互い様このことに腹を据え「今いるところが修行の場」としてとらえ前向きに新年のスタートを目指したいと思います。

（注）立正佼成会：正しい教えに沿い人と人とが交わる中で人格の完成を目指す会

合掌

RKNY 畠山友利

